

2026年5月15日

各位

会社名 株式会社海帆
代表者名 代表取締役 守田 直貴
(コード番号：3133 東証グロース)
問合せ先 管理本部長 羽二生 博志
(TEL. 052-586-2666)

営業外収益及び営業外費用並びに特別利益及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）連結決算において、以下のとおり営業外収益及び営業外費用並びに特別利益及び特別損失を計上することとなりましたので、お知らせします。

1. 営業外収益の内容

2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）連結決算において、主に貸付先に対する短期貸付金の受取利息及び配当金として3百万円、飲食店舗の修繕に関する受取保険金17百万円及び飲食店舗の撤退による敷金及び保証金清算益4百万円、その他12百万円を計上しました。

2. 営業外費用の内容

2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）連結決算において、金融機関等からの借入金利息およびリース債務に係わる支払利息として、支払利息187百万円を計上しました。

3. 特別利益の内容

2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）連結決算において、新株予約権付与対象者の退職による新株予約権戻入益32百万円を計上しました。

4. 特別損失の内容

2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）連結決算において、連結子会社である株式会社Kaihan Medicalにおいて、のれんの減損損失1,248百万円を計上いたしました。これは、支援先である医療法人大美会における事業計画の変更及び外部環境の悪化等により、当初計画していた収益の確保が困難であると判断したためであります。一方で、同社に対する経営支援は継続しており、経営体質の改善を進めることで、中長期的には当社グループの収益に貢献するものと考えております。

また、再生可能エネルギー事業における株式会社NEPAL HYDRO POWER HOLDINGSにおいて、減損損失2,084百万円を計上いたしました。当社は、株式交換による取得以降、現地関係者

との協議を進めてまいりましたが、ネパール国内における情勢不安に加え、当社における資金調達の遅れ等により、事業開始時期が当初想定より遅延している状況であります。このような状況を踏まえ、今後の資本効率をより適切に反映させる観点から、現時点において減損損失を計上するとともに、事業計画の見直し及び再検討を行うことといたしました。

さらに、長期売電契約における運転開始期限（売電開始期限）の延長に伴う遅延損害金が発生したことから、プロジェクト損失引当金繰入額155百万円を計上いたしました。

5. 業績に与える影響

上記、営業外収益及び営業外費用並びに特別利益及び特別損失につきましては、本日公表の「2026年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

以 上